

様式1(主な取組)

活動指標名	施設整備(工事進捗率)				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	1.1%	28.3%	90.3%	100%	90.3%	4,353,527	順調	平成29年度末現在、工事進捗率は90.3%で1階から5階の内外装工事と外構工事を実施しており、平成30年6月末の完成に向けて工事を進めている。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
①工期に与える影響や費用増加を最小限に抑えるために、工程や施工方法の調整を随時行う。						①病院事業局、監理者、施工者の3者において、週1回程度現場事務所で工程会議を開催しており、工事の進捗に影響が生じないよう、工程や施工方法等について、必要な措置を講じている。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

- ・平成30年6月末の完成に向けて、工程や施工方法の調整を行い、工期に与える影響を最小限に抑える取り組みが必要である。
- ・インフラ整備(道路、交通機関等)の状況によっては、開院時期に影響を与えないか懸念される。

○外部環境の変化

- ・新病院周辺の工事の影響により、工事の進捗に影響が生じないか懸念される。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・新病院の建設工事やインフラ整備の推進について、地元自治体や関係機関等と綿密な連携を行う。

4 取組の改善案(Action)

- ・工期に与える影響や費用増加を最小限に抑えるために、工程や施工方法の調整を随時行う。